

御所見通信

2018年9月3日

9月号

藤沢市立御所見小学校

校長 三橋 雅幸

備えあれば

今から95年前の1923年（大正12年）9月1日午前11時58分、相模湾沖合を震源地とする大地震が起きました。関東大震災です。

御所見村立御所見尋常高等小学校でも、校舎の中では立ってられない状態だったそうです。当時は木造平屋建て亜鉛板葺きの校舎なので、倒壊は免れたものの、ガラスはすべて割れ、全校舎が傾き半壊の状態だったそうです。校庭も、地割れが蜘蛛の巣のように走っていたとのこと。幸いこの日は始業式で、子どもたちは早く下校していたので、学校での子どもたちの負傷はなかったそうです。しかし、御所見地区では約6割の家が倒壊し、命を落とされた方が何人もいたそうです。

大きな地震はいつ来るかわかりません。6月に大阪で最大震度6弱の地震があったことは記憶に新しいところです。95年前と今とでは、建物のづくりも大きく違いますが、防災について考え、準備するよい機会だと思います。

さて、きょうから2学期が始まりました。2学期は、運動会、修学旅行、八ヶ岳、遠足、御小まつり等、子どもたちが楽しみにしている行事がたくさんあります。日々の学習活動の中では、自分の思い通りに行かないことや、うまくできないことも出てきます。友だち関係で嫌な思いをすることもあることでしょう。また、そんな友だちの姿を見て、心を痛めている子もいるかもしれません。

そんなとき、合い言葉の「えがお・かがやき・ささえあい」を思い出してください。自分の笑顔は、周りの友だちにも伝染します。自分が笑顔になれないときは、友だちから笑顔をもらいましょう。自分が笑顔になれるときは、友だちに笑顔あげましょう。みんなが笑顔になれば、きっと大きな力となって素晴らしい結果を残すことができることでしょう。一つ一つの行事の中には、いろいろな子が活躍できる場がたくさん用意されています。2学期の間、どの子も笑顔で過ごし、みんなと支え合い、いろいろな活動で輝いている姿を数多く見せてくれることを期待しています。

9月に入っても、まだまだ暑い日が続くことが予想されます。運動会の練習も始まりますが、家庭と連絡を取り、一人ひとりの子どもの体調に十分配慮しながら無理のないよう進めていきます。お子さんのことで気になることがありましたら、お知らせください。



体育館前にある防災倉庫